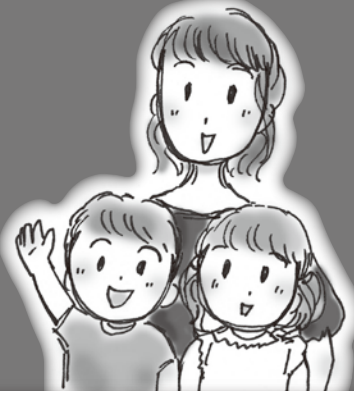




あっとわんは子育て支援の団体です。親と子のエンパワメントを応援しています。 2017年8月25日発行 46,370部

子育ての
ヒント

マインド ナレッジ スキル



子どものほめ方叱り方の講座を7年ぐらい前から始めましたが、毎回たくさんの方が受講して下さいます。そこで、いくつかに分けて、子育てのヒントをお伝えしたいと思います。

マインド = 心構え

スキル = ちょっとしたコツ

ナレッジ = 知識・情報

これらの3つの要素がヒントになるかなと思っていますので、ひとつずつ紹介していきたいと思います。

今回は「スキル」について

前回は、親自身が「まずは自分のことを知る」ということをお伝えしました。

まずは自分の傾向を知っておくことって大切だと思います。

そのうえで、「スキル=ちょっとしたコツ」を知っていくことで、また少し楽になることもあると思います。

わたしはいつも「行動分析学」の視点からほめ方叱り方のお伝えをしています。

これは、行動の背後にある原因を分析することで、社会生活上の問題を解決していくという学問と実践で、行動に着目していくことから出発しています。

簡単に言うと、人の行動には必ず理由があるんですよってことで、子どもの行動を「なぜ?」という視点を持つ事で、むやみやたらに叱ることが避けられることになります。

行動には理由(機能)があるとされます。

1

要求

2

承認・注目

3

拒否

4

感覚刺激

子どもにとっては、何らかの理由があつての行動なのですが、それが親にとっては「理解できない」「理解しづらい」ということがあると、「むやみに叱る」ことに繋がりがねません。親のわたしにとっては、理解できない行動であっても、子どもにとってはそれなりの理由がある行動だったりします。

- ★そこで、「なぜその行動をしているの?」ということを少し考えてみるだけでも、ずいぶん気持ちが変わってきます。
- ★頭ごなしに叱っていたり、親の都合で怒っていたことが、ちょっと変化してくると思います。

一呼吸おいて、子どもの行動を冷静に見てみると、今まで見えなかった子どもの行動や、子どもの特性、親であるわたしの感情や行動が見えてくることもあると思います。

前回お伝えした、自分のことを親が考えてみることで、親の勝手な思い込みだけで子どもの行動を見ていないでしょうか? 子どもの行動を、客観的にみていくことをやってみることをお勧めします



次回は、「ナレッジ」をお伝えしますね。

あっとわん春秋

「多様性を受け入れる」という言葉が広まっているとはいえ、つい自分の見方で物事を見ていることとして良くありません。これ、無意識なので自分でも気づいていないことが多くあります。自分の見方は、育ってきた環境・特に親や身近な大人からの価値観を、知らず知らず受け取っていることだから、形作られていきます。子どもたちは、成長していく中で、大人との関わりから様々なことを学んでいます。モノの捉え方、考え方、認識の仕方など、子ども自身の持っているものもありますが、環境から形作られていくことも多いと思います。▼大人である私たちには、知らず知らず影響を与えていることを自覚する必要があります。特に「あなたのためなんだから」という親の勝手な思い込みで、子どもに必要以上に「何か」を強いていないでしょうか。「あなたのため」という「自分のため」のこともあるかもしれませんが、その価値観自体も、親である大人の私たちの勝手な価値観であることもあるわけですね。今一度、私たちが自分の行動や感情を冷静に見ていくことから、子どもたちの行動を冷静に見ていけたらと思います。

かわのゆみこ